※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	化学 Vol.1 理論編　化学 Vol.2 物質編　（東京書籍出版）						
副教材等	ニューグローバル化学基礎＋化学(東京書籍出版) サイエンスビュー化学総合資料(実教出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年次と 3 年次に学習する化学をさらに深く理解し、化学の様々な現象やその法則を理解します。
主に問題演習を通じて、化学の基本的な概念・原理の理解をさらに深め，化学の様々な現象やその法則を理解します。

2　学習の到達目標

(a)知識及び技能
・演習を通じて化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を，深く系統的に理解する。
(b)思考力・判断力・表現力等
・演習を通じて物質やその変化に関する原理・法則を系統的に身につけ，正しい物質感を身につけ，他の科目とも関連させて，自然界の事物・現象を分析的，総合的に考察する能力を身につける。
・探究の過程をたどらせることによって，科学の方法を習得させ，化学的に探究する能力を育む。
(c)学びに向かう力、人間性等
・演習を通じて物質とその変化について，化学的な解釈や説明する力を育み，興味・関心を探究心にまで高め，知的好奇心をもって問題を見いだし，主体的に解決しようとする意欲を高める。
・演習を通じて生徒自身が課題を見つけ，主体的・意欲的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について，問題演習を通じ基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心をもち,意欲的にそれらを探究しようとするとともに,科学的態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	理論化学	物質の状態 物質の変化	a：物質の三態についてそれぞれの状態について特徴や性質の違いを理解する。 b：化学反応の法則や性質などについて化学的に考察し説明することができる。 c：化学反応に伴う光や熱の出入りについて、エネルギーと関連付けて考察しようとする。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	問題演習 振り返りシート 観察
2学期	無機化学	非金属元素 金属元素	a：非金属、金属元素の特徴や化学的性質について理解する。 b:金属イオンの系統分析について,それぞれの操作の意味を考察し説明することができる。 c：化学物質の工業的製法について興味を持ち、化学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	問題演習 振り返りシート 観察
3学期	有機化学高分子化学	有機化合物 高分子化合物	a：有機化合物の反応性や検出法,酸の強さなど化学的性質について理解する。 b：有機化合物の特徴や構造,反応性について興味をもち、与えられた混合物から目的の有機化合物を分離することができる。 c：有機化合物の化学的性質が炭素骨格や官能基と関連していることを見出し、その特徴について考察しようとしている。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	問題演習 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度